

此の事は... 此の事は...

一 百の事

一 事... 此の事は...

此の事は... 此の事は...

此の事は... 此の事は...

此の事は... 此の事は...

此の事は... 此の事は...

此の事は... 此の事は...

此の事は... 此の事は...

此の事は... 此の事は...

此の事は... 此の事は...

此の事は... 此の事は...

此の事は... 此の事は...

此の事は... 此の事は...

此の事は... 此の事は...

此の事は... 此の事は...

此の事は... 此の事は...

此の事は... 此の事は...

此の事は... 此の事は...

此の事は... 此の事は...

此の事は... 此の事は...

此の事は... 此の事は...

此の事は... 此の事は...

此の事は... 此の事は...

一 竹園屋去九ノ下ノ公ニテカニシテハ 竹ノ葉
ノ多クハ入ルノ事也

一 中村君ニテハ干シテ先ニ多クニテハ 竹ノ葉
ノ多クハ入ルノ事也

一 竹ノ葉ニテハ 竹ノ葉ノ多クハ入ルノ事也
竹ノ葉ノ多クハ入ルノ事也

一 竹ノ葉ニテハ 竹ノ葉ノ多クハ入ルノ事也
竹ノ葉ノ多クハ入ルノ事也

竹ノ葉ノ多クハ入ルノ事也

一 竹ノ葉ノ多クハ入ルノ事也

一 竹ノ葉ノ多クハ入ルノ事也

Handwritten text in cursive script, top right section.

Handwritten text in cursive script, middle right section.

Handwritten text in cursive script, bottom right section.

Handwritten text in cursive script, middle left section.

Handwritten text in cursive script, bottom left section.

Handwritten notes at the top of the right page, including a vertical line and some illegible characters.

Handwritten notes at the bottom of the right page.

九月二十日

一 宿野の山に遊んで来た。山は高くないが、木が茂り、景色が美しい。山頂には小さな祠がある。祠の裏には大きな石がある。石の表面には何かの文字が刻まれている。石の文字は、山の名前か、祠の名前か、それとも何かの物語か、よくわからない。石の文字は、山の名前か、祠の名前か、それとも何かの物語か、よくわからない。

一 宿野の山に遊んで来た。山は高くないが、木が茂り、景色が美しい。山頂には小さな祠がある。祠の裏には大きな石がある。石の表面には何かの文字が刻まれている。石の文字は、山の名前か、祠の名前か、それとも何かの物語か、よくわからない。石の文字は、山の名前か、祠の名前か、それとも何かの物語か、よくわからない。

Handwritten text in cursive script, likely a list or notes, starting with a bullet point. The text is dense and difficult to decipher due to the cursive style.

九日

Handwritten text in cursive script, starting with a bullet point. The text is dense and difficult to decipher due to the cursive style.

Handwritten text in cursive script, starting with a bullet point. The text is dense and difficult to decipher due to the cursive style.

一 守書者なり

幸際存るるをばたしめぬ處
之の心ありて我も亦相成り得ん
節に物申し能くするものありて
去月十日申すに其の事ありて
今之をより記すに付す如く

乃ち書中なるものありて
おのづからしるすものありて

幸 此の書は

由なる所は
角にありて
感極むるものありて
心ありて
其の事ありて

九月

廿日

十五

左の書は
右の書は
此の書は

此の事

此の事

此の事

此の事

此の事

此の事

此の事

此の事

此の事

此の事

此の事

此の事

此の事

此の事

此の事

此の事

此の事

此の事

此の事

此の事

此の事

此の事

此の事

此の事

此の事

斗の底は深から 何れも人の心を透らすことなし
口を閉じて心を開くは 神の御心を知る事
信を信するは 神の御心を信する事
心を信するは 神の御心を信する事
心を信するは 神の御心を信する事
心を信するは 神の御心を信する事

九一七

九一七

内創りの中

一 高き山はくもをく

高き山はくもをく 高き山はくもをく
高き山はくもをく 高き山はくもをく
高き山はくもをく 高き山はくもをく
高き山はくもをく 高き山はくもをく
高き山はくもをく 高き山はくもをく
高き山はくもをく 高き山はくもをく

高き山はくもをく 高き山はくもをく
高き山はくもをく 高き山はくもをく
高き山はくもをく 高き山はくもをく
高き山はくもをく 高き山はくもをく
高き山はくもをく 高き山はくもをく
高き山はくもをく 高き山はくもをく

九一七

九一七

内創りの中

高き山はくもをく

高き山はくもをく 高き山はくもをく
高き山はくもをく 高き山はくもをく
高き山はくもをく 高き山はくもをく
高き山はくもをく 高き山はくもをく
高き山はくもをく 高き山はくもをく
高き山はくもをく 高き山はくもをく

あつた

の

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

一 井守屋の行状を記す。天保九年の事。...

九月

十一日

一 井守屋の行状を記す。天保九年の事。...

一 井守屋の行状を記す。天保九年の事。...

一 井守屋の行状を記す。天保九年の事。...

一 井守屋の行状を記す。天保九年の事。...

一 井守屋の行状を記す。天保九年の事。...

